

会 議 録

会 議 の 名 称	令和 7 年度第 1 回白岡市環境審議会
開 催 日	令和 7 年 7 月 1 5 日（火）
開 催 時 間	午前 9 時 5 6 分開会 ・ 午前 1 1 時 2 8 分閉会
開 催 場 所	日産化学株式会社 生物科学研究所 会議室
会 長 の 氏 名	弓木 裕一
出 席 者 の 氏 名・出席者数	白岡市環境審議会委員 仁木 俊夫、福田 慎太郎、伊藤 昌美、弓木 裕一、 浅野 悦子、片山 俊樹、新居 敦子、松原 弘一 8 人
欠 席 者 の 氏 名・欠席者数	情野 雄太郎、高橋 史典 2 人
説明員氏名	(1) 令和 6 年度リーディングプロジェクト関連事業の 実績について：今泉主査 (2) 令和 6 年度白岡市環境基本計画（実績報告）につい て：今泉主査 (3) 令和 7 年度白岡市環境基本計画（当初事業）につい て：今泉主査
事務局職員の 職・氏名	生活経済部 部長 小船 伊純 環 境 課 課長 伊藤 真州 環 境 課 課長補佐 吉川 隆志 環 境 課 主幹 吉田 宏 環 境 課 主査 今泉 和也 5 人
その他会議 出席者の職・ 氏名	白岡市長 藤井 栄一郎 (傍聴人) 1 人
会 議 次 第	1 開 会 2 委嘱書の交付 3 市長挨拶 4 委員紹介 5 議 事

	(1) 会長及び副会長の選出 (2) 令和6年度リーディングプロジェクト関連事業の実績について (3) 令和6年度白岡市環境基本計画（実績報告）について (4) 令和7年度白岡市環境基本計画（当初事業）について 6 そ の 他 7 閉 会
配 布 資 料	○会議次第 ○白岡市環境審議会委員名簿 ○資料1 令和6年度リーディングプロジェクト関連事業実績 ○資料2 令和6年度白岡市環境基本計画進行管理票（実績報告） ○資料3 令和7年度白岡市環境基本計画進行管理票（当初事業）

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
吉川課長補佐	1 開 会 会議を開会
藤井市長	2 委嘱書の交付 藤井市長から、代表して仁木委員に委嘱書を交付
藤井市長	3 挨拶 藤井市長から挨拶
吉川課長補佐	4 委員紹介 委員の紹介 事務局職員の紹介
吉川課長補佐	5 議 事 (1)会長及び副会長の選出について 課長が仮議長となり、議事の進行を行う。
伊藤課長	会長及び副会長は、白岡市環境基本条例第30条の規定により、委員の互選により定めることとなっているが、いかがするか。
A委員	事務局に腹案はあるか。
今泉主査	会長を弓木委員、副会長を福田委員に御協力願いたい。
伊藤課長	事務局から腹案が提案された。委員にお諮りしたい。
委員一同	異議なし。
伊藤課長	それでは会長を弓木委員、副会長を福田委員とする。 円滑な議事の進行に感謝する。
吉川課長補佐	会長及び副会長に選出された2人から、挨拶をいただく。

弓木会長	会長挨拶。
福田副会長	副会長挨拶。
吉川課長補佐	それでは、議事進行については白岡市環境基本条例第31条第1項に基づき、会長に依頼する。
弓木会長	これより議長の職を務める。 議題(1)令和6年度リーディングプロジェクト関連事業の実績について、事務局から説明を求める。
今泉主査	資料1に基づき説明。 引き続き、事前にいただいている質問への回答を行う。 B委員からの質問で、リーディングプロジェクト2の数値目標中、保存樹林の指定面積の目標が現状維持としているが、どのように面積を増加させるのか、また見込について質問を受けている。 回答としては、面積の増加としては新たな保存樹林の指定を考えているが、保存樹林の要件である「市街化区域内」であり「1,000 m ² 以上」を満たす場所はなかなか見つからない。 現場に出た際には、ここはどうだろうかという場所の検討はしている。 また、樹木であれば1本の木の指定なので、樹林に比べると指定がしやすいと思われるので、維持していけるように努力する。 また、令和6年度中に指定樹木が解除されているということは、現在は9本という認識であっているかという質問については、そのとおりである。 今年度中に新たな指定がない限り、減少という形になる。 もう一つ、川の国応援団の登録数については、現在は9団体あり、令和7年度時点での目標には達してい

今泉主査	るが、令和１２年度の目標値にはまだ足りていない。今後はどうのように登録団体を増やすのかという質問であるが、ホームページ等で周知活動はしているが応募がないというのが実情である。 引き続き周知活動を行い、目標達成に向けて努力していく。
弓木会長	事務局の説明が終了した。 他に質問等はあるか。
C 委員	太陽光発電システムや蓄電池を買換える場合、市の補助金は該当するのか。
吉川課長補佐	新築住宅では様々な要件が出てくるので、一概に補助対象となるとは言えないが、既存住宅であれば該当する。
C 委員	申請方法は、個人で申請なのか業者が申請なのか。 太陽光発電などは高額な費用が発生する。 その分電気代を払った方がお得なのではないかとも思える。
吉川課長補佐	申請者は個人となるが、書類提出は業者でも可能である。
C 委員	L E D への交換について、知り合いから申請方法を聞かれたが、購入後に領収書等を持って行けばよいのか。
吉川課長補佐	補助金の交付は設置前に申請となる。 もし申請方法等がわからない場合は環境課を案内してほしい。
C 委員	補助金は業者に支払われるのか。
吉川課長補佐	個人への交付である。
D 委員	脱炭素社会の実現として、今までの排出された数値を積み上げて、どれくらい減ってきたのかを公表していかないといけないと思う。

吉川課長補佐	温室効果ガスの排出量を個人や各業者に積算してもらうことは難しいため、現在は環境省の排出カルテや埼玉県が公表している数値を参考にしている。 今年度、第2次白岡市環境基本計画の改訂があるが、併せて地球温暖化対策実行計画の区域施策編も策定する予定なので、その中でCO2排出削減の目標等を定めるときに、皆さんからの御意見を参考にいろいろな事業等を検討していただきたい。
D 委員	デジタル庁が様々なデータを持っていると思う。そういったデータから特徴的な企業等を選定したりして、どれくらい取組が進んでいるのかということを工夫して算定してもらえたらと思う。 追加での質問だが、市役所等の電気は東京電力からの購入なのか。
吉川課長補佐	現在、細かな資料がないため分からないが、全ての施設が東京電力から購入しているわけではない。 また、購入している電気が再生可能エネルギーなのかも今は分からないので、確認しておく。
D 委員	どこから電気を購入しているのかも重要だと思う。 そのようなことも公表して、再生可能エネルギーを使っていくという盛り上げが必要と思われる。 EV充電器を設置したと記載があるが、その電気は購入しているのか。
吉川課長補佐	EV充電器の電気は、それぞれの施設によって異なるが、施設の電源からとってきているものもあれば、電柱から直接引き込んでいるものもある。 シラオカフェの電気は味彩センターが管理しているが、再生可能エネルギーの電気だと聞いている。
E 委員	リーディングプロジェクト1の中でPPA事業について記載があるが、発電量のリスクがあるというか不

E 委員	確定要素が大きい。 契約も細かく決めていかないと市が損をしてしまう可能性があるので、慎重に検討していただきたい。 2つ目に、緑のカーテンの件だが、市民の身近なところで取り組むものとしてはやりやすいものかと思われる。 千葉県内の事例だと、コンテストを行ったりしている。いきなりコンテストをやると話が大げさになってしまうかもしれないので、まずは写真を提供してもらい、審査するなどから始めるのは悪くないのかなと思う。 最後に、リーディングプロジェクト3全体を通じてだが、リサイクルへの取組が弱いと感じた。 子育て支援課が事業を行っているという記載があるが、あまり小さな子ではなく、中学生・高校生など、これからを担っていく世代へ物を大切に使うとか、地球環境に負荷をかけないようにしていくということを教えていくことが大切だと思う。 何か事業をやっているかもしれないが、記載がないので、意識していただければと思う。 意見なので、回答は結構である。
弓木会長 A 委員	他に質問はあるか。 太陽光発電の話だが、公共施設についているだけでも、1日、1か月、1年間でどれくらい発電して、CO₂の削減に貢献したかなどを集計し、公表していくことも必要だと思うがいかがか。
今泉主査	公共施設については、ガソリンや電気使用量等を各施設で集計し、環境課で取りまとめている。 ただし、委員から意見のあった太陽光の発電量や、使用した電力に対してどれくらい自家消費したのかな

今泉主査	どの数値は把握していないので、今後はそれらも集計をしていきたいと思う。
弓木会長	他に意見はあるか。
B 委員	提案だが、C O 2 の排出量算定は環境課では厳しいところであると思う。
	産業技術総合研究所の研究員の方が知り合いで、その方は全国の自治体の C O 2 排出量算定を行っている。
	要望があれば紹介する。
弓木会長	時間の都合もあるので、議題(1)令和 6 年度リーディングプロジェクト関連事業の実績については終了とする。
	続いて、議題(2)令和 6 年度白岡市環境基本計画（実績報告）について及び議題(3)令和 7 年度白岡市環境基本計画（当初事業）について、それぞれ関連があるため事務局から一括で説明を求める。
今泉主査	資料 2、3 に基づき説明を行う。
	また、こちらにも事前にいただいた質問についていくつか回答を行う。
	E 委員からの質問だが、3 点あった。
	1 点目、資料 2 の 1 ページ、「ふるさと農園推進事業」について、実績数値が記載していなかったのを教えてほしいとのことだが、農政課に確認したところ、区画は 60 区画あり、それが全て貸出されたとのこと。
	また区画数を増加できないかということについては、土地所有者からの相談があれば、区画を増やすことは可能であるとのこと。
	さらに、勉強会等の機会を設けられないかというものについてだが、年に 1 回「農業講演会」というものを実施しているとのこと。

今泉主査	参加者としては、新規就農者の方やふるさと農園利用者も多く参加しているとのこと。 2点目、資料2の3ページになるが、衛生害虫等の事業のところにムクドリの記載がないとのことだが、単純に記載していなかったというものである。次回は記載するようにしていく。 取り組んでいる内容としては、早ければ今週中にと考えているのだが、まずフクロウの置物を駅周辺の要所に置く予定である。昨年度はこれをやったところ、それだけでムクドリの苦情等がなかったという結果が出ている。 これで効果がない場合は、環境課職員が現地に行き、忌避音を出す装置を使って追い払うということをしている。 今のところ、我々としてはこれをやることで効果が得られているので、E委員からは「ホロライト・チェッカーズ」という光を使った機器を使用してはどうかという意見をいただいているが、考えていない。 近隣自治体の2～3団体から、対策についての視察があった。
E 委員 今泉主査	科学的な根拠はあるのか。 結果的にムクドリが来ていなかったというところで判断している。 最後に、資料2の9ページの「たばこのポイ捨て防止啓発」についてだが、前委員の方には、3月の環境審議会の中で「白岡市路上喫煙の防止に関する条例」について審議いただいた。 4月1日から条例を施行し、白岡駅・新白岡駅の改札を出たところに横断幕を設置した。 この条例を施行後、何か反応が表れたかという質問

今泉主査	だが、結果的には何も反応はない。 ただ、シラオカフェに併設されている喫煙所については、２月末までは月に数件の苦情が寄せられていたが、それ以降はなくなった。 期間は短いが、一定の効果が出ているのかもしれない。 ４月半ばには、環境課と健康増進課の職員がポケットティッシュを配布しながらＰＲを行った。こういった活動を通じて、より認知度を上げられるようにしていきたい。 続いてＢ委員からの質問についても回答する。 まず、８ページの５段目、空家等対策事業について、環境課が担当というのはいかがなものかという質問があったが、空き家については環境課だけで完結できる問題ではないものもあるので、建物に関しては建築課、エリア的なことについては街づくり課、農地のことであれば農政課と、関連部署と連携して対応している。 空家等対策協議会という組織があるが、そちらには建築課長に出席いただき、意見を出してもらったりしている。 今後も横の連携を強化して、いろいろな視点から空家対策を行っていければと思っている。 次に２ページの２段目、「水質検査事業」についてだが、こちらについては吉田主幹から回答する。
吉田主幹	冬の調査時、隼人堀川の菁莪学校橋と元荒川の八幡橋の２か所でＢＯＤ基準を上回る結果となった。 菁莪学校橋については、工事を行っていたこと、冬のため水量が減っていたことなどが原因と考えられるが、元荒川については原因がわかっていない。 今年度も引き続き調査を行うので、様子を見ていく。

吉川課長補佐	もう一つ、資料２の１１ページ、上から３段目の財政課の「太陽光発電など石油代替エネルギーの活用」と下から３段目、健康増進課の「太陽光発電による節電とＣＯ２削減」だが、内容については“はびすしらおか”の太陽光システムのことで、評価の理由については両課ともに不具合が生じていると記載がある。 しかし、今後の方向性については、財政課は修繕の検討としているが、健康増進課は既存施設の撤去・新規設置の検討となっており、違った方向性となっている。 “はびすしらおか”については、今年度、大規模改修を予定している。 それに合わせ、今月末の環境省の国庫補助金に応募し、新たな太陽光発電設備と蓄電池の設置を進めている。 文言を修正させていただくと、健康増進課の既存施設の撤去・新規設置を進めていくようにしている。 事前質問については、ここまでの対応とさせていただく。
弓木会長	事務局の説明が終了した。 他に質問等はあるか。
Ｄ委員	市街化区域の緑化については記載があるが、市街化調整区域の緑化事業については何かあるか。
今泉主査	一度検討をしたという段階ではあるが、蓮田市が市街化調整区域への樹木樹林への奨励金交付をしていると聞いている。 このことから、当市においても市街化区域での緑化事業については限界が来ると思うので、様子を見ながら市街化調整区域内での検討もしていかないのかなと思っています。

D 委員	法律や条例の問題もあると思うが、検討をお願いする。 もう一点、私の住んでいる地域で資源回収を毎月 1 回行っている。 昔は市から補助金が交付されていたが、今はどうなっているか。
今泉主査	手元に資料がないため、正確な情報は伝えられないが、平成 28 年度あたりから補助金の交付は行っていない。 各学校の事業でペットボトルキャップを回収してプランターと交換したり、委員の地域と同じように資源回収を行っているが、P T Aが行っており、そこで得た収益は学校活動などに使われていると伺っている。
弓木会長	他に質問はあるか。
B 委員	「保存樹林・樹木」についてだが、開発行為により解除となったとある。 しかし、開発行為があるたびに解除となると極端な話、ゼロになってしまう。それでは保存するという意味がないのではないかと思うがどう考えるか。
今泉主査	市としてはなるべく残したいと考えている。 今回の開発は白岡駅西口線の工事によるものである。市の開発行為による樹林の減少は、これ以上は増えない予定である。 しかし、樹林の土地所有者の考えもある。 今の代の方は残してもよいと考えているが、代替わりをすると要らないという考えになるかもしれない。 奨励金交付の申請時に、落ち葉の問題などで困っているという実情も聞いている。 先ほどの D 委員の意見にもあったように、市街化調整区域内での指定も検討し、樹木樹林を守っていかな

今泉主査 弓木会長 D 委員	ければと思っている。 他に質問はあるか。 「水質検査事業」についてだが、B O D を測定しているとあるが、今の時代 P F A S やマイクロプラスチックの排出などについても検査をして公表していただきたい。 工業団地などの近くに川が流れているところもあるので、話題の物質については調べていただきたい。 また、どこでどのような物質が検出されるかわからないので、毎年同じ場所で採取するのではなく、別の場所でも採取するべきではないか。
吉田主幹	B O D だけではなく、P H 値や汚れの具合などの生活環境項目と一般項目である流量や温度、水質なども計測している。 河川の状態を経過的に見ていくために、同じ場所での測定を行っている。 また、大きな工場等については、水質汚濁防止法にのっとり、その工場が検査をすることが義務付けられている。それらについては、東部環境管理事務所と連携しており、状況について知ることはできる。 P F A S 等については、調べた方がよいのではという声はあるが、飲み水で測る項目となっている。そのため、河川水質とは別と考え、上下水道課で計測をしている。
弓木会長 E 委員	他に質問はあるか。 広い意味では環境問題に入るかと思うのだが、八潮市での下水道管事故を受け、白岡市で何か対策をしていることはあるか。
今泉主査	継続的に何か行っているのかは把握していないが、事故直後、上下水道課が市内の下水道管の緊急点検を

今泉主査	実施し、重大事故につながるようなものはなかったとホームページなどでお知らせしていたと記憶している。
弓木会長	他に質問はあるか。 質問がないようなので終了とする。 本日委員の皆様から出た意見等については、事務局で整理し、対応をお願いしたい。
吉川課長補佐	議事が全て終了したため、議長の職をおりる。 円滑な議事の進行に感謝する。
吉川課長補佐	B 委員から事前にいただいた質問で、本日回答できなかったものがあるため、次回の会議までには取りまとめ報告する。
吉川課長補佐	6 その他
今泉主査	その他に関して、事務局から説明がある。 一つ目として、第2次白岡市環境基本計画改定作業を今年度行う。 次回会議を10月に行い、改定内容等をお示しするので審議していただき、11月にそれらを踏まえた修正版として提示する。 その後パブリックコメントを実施し、年が明けた2月に最終版の完成というスケジュールで考えている。 また会議前には日程調整の連絡をするので、会議への出席協力をお願いする。 もう一つ、企画政策課から、当審議会から白岡市総合振興計画審議会委員に1名の推薦依頼があった。 前委員の任期中であったため、弓木会長と相談し、仁木委員を推薦したので報告する。
吉川課長補佐	質問等はあるか。
委員一同	なし。

吉川課長補佐 委員一同	そのほか、各委員から何かあるか。 なし。
吉川課長補佐	7 閉 会 会議を閉じる。 以 上